



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan

こうほう・Vol.4 2014.6.1

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B
埼玉県支部事務局 Tel & Fax 048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

平成26年度の活動について
総務企画委員会活動計画
教育推進・CPD委員会活動計画
地域産業支援委員会活動計画
地域委員会活動計画
彩の国産業活性化交流会報告
技術士・研究業績発表大会報告
技術士試験新合格者紹介

目次

支部長	渡辺 孫也
総務企画委員長	阿津沢 潔
教育推進・CPD委員長	黒澤 兵夫
地域産業支援委員長	松井 繁
地域委員長	渡辺 孫也
地域産業支援委員長	松井 繁
教育推進・CPD 委員長	黒澤 兵夫
飯田 伸夫、市戸 優二、河内 泰三	

★ 平成26年度の活動について

支部長 渡辺孫也

埼玉県支部の発足後早くも2年経過しました。平成25年度は組織を大幅に変えましたが漸く定着して参りました。また、懸念された財政問題も24年度に引き続いて無事に実績を上げることが出来ました。皆様方のご努力に感謝すると同時に敬意を表する次第です。

埼玉県支部の3つの重要課題について以下にご紹介させていただきます。その一つは、埼玉県支部は正会員約760名、準会員も含めると合計1,000名近くの大所帯ですが、いかに多くの会員がこの支部活動に参加できるか。これは埼玉県支部の設置検討時からの課題でもあります。

埼玉県の地域別の特徴を生かした地域ネットワーク(小委員会)を構築して活動の活発化を図りたいという事です。現在は2つの地域小委員会を設立して東部及び北部地域で試行を始めたところです。本年は、さらに西部地域など検討を進めてまいります。それぞれの地域の皆さま方の絶大なるご協力をお願いします。

次に産業支援関係では国の施策である「中小企業・小規模事業者ビジネス創造支援事業に基づく、地域プラットフォームの構成員」としての役割、「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」等地域産業の発展に関しまして県など公的団体等と連携した積極的な支援に努めていきたいと思ひます。

最後に埼玉県支部に教育推進・CPD委員会にて新たに理科実験研究会(仮称)の検討を開始しました。県内の教育イベントへの参加、埼玉県立総合教育センターの理科教室(毎年1日開催)への参加及び県内小中学校等の要望にもこたえて行きたいと思ひます。更に常設展示場への参加等新しい問題にも積極的に取り組んで行く事とします。

埼玉県支部は「技術の力で地域の発展に貢献」をキャッチフレーズにしております。会員の皆さまの積極的な活動と参加をお願いします。

★ 総務企画委員会活動計画

総務企画委員長 阿津沢潔

総務企画委員会は埼玉県支部の活動が活発に行われるよう、県支部活動の企画、運営、広報、基盤整備などを担当しております。

その主な業務は、「役員会の運営事務」、「年次大会の企画、運営、報告」、「県支部規程の整備」、「広報誌や県支部リーフレットの発行」、「ホームページの更新管理」、「県支部予算策定、執行管理」、「事務所の運営管理」などです。

今年度の主な活動として、次ページに2件を紹介します。

(1) 年次大会(全体会合)の開催

右図の通り、開催します。

ご案内はホームページや同報メールなどにより行います。年次大会では新しく入会された方の紹介の時間も設ける予定です。皆様の参加をお待ちしております。

(2) 「埼玉県支部の運営における個別事項に関する手引き」の検討

本県支部は日本技術士会の地域組織の運営に関する規則に従い、活動を行っています。県支部の個別事項に関しては別途手引きを制定することになっており、「役員会の開催や運営組織」「協賛団体」「事務所の運営」などの個別事項に関する手引きを現在検討中です。

平成26年度埼玉県支部 年次大会

「技術の力で地域の発展に貢献」

・開催日 H26年7月26日(土)13:15～
(懇親会 17:00～)

・場所 新都心ビジネス交流プラザ(北与野駅前)

・第一部 CPD講演

・関東経済産業局(環境経営)

・企業の成功事例発表など

・第二部 年次大会

・理科教室への取組、企業支援活動、
地域活動など重点活動の報告他)

・懇親会 (立食形式)

★ 教育推進・CPD 委員会活動計画

教育推進・CPD 委員長 黒澤 兵夫

平成26年度は以下の3点を重点テーマとして、活動します。多くの皆さまの参加をお待ちします。

(1) 技術士CPD実施計画(下表)の実施と参加者増員
対策

(2) 理科実験研究会の設立・活動推進と理科大好き生徒・学生の育成

(3) 県内の理工系大学・高専等のJABEE 課程への説明会実施と技術士資格取得者の拡大

☆☆平成26年度 主なCPD 予定表☆☆

日程	時間	場所	テーマ
5/24 (土)	15:00-19:00	産学交流プラザ	技術士二次試験/一次試験合格者祝賀会、懇親会 ・CPD特別記念講演会:「経営と技術」埼玉ちゃれんじ企業経営者 特別賞受賞者・賛光精機株式会社 社長 清水 洋氏
6/24	18:30-20:30	浦和ミューゼウム	CPDセミナー:(テーマ、講師調整中)
7/			見学会(見学先、日程等調整中)
7/26	13:20 14:40	産学交流プラザ	年次大会CPD講演会①経営改善事例について～環境視点が企業を変革する～総合エネルギー広報室 係長 杉山 佳正氏②事例企業による発表 カネパッケージ(株)代表取締役社長 金坂 良一氏
9/	18:30-20:30		産学官連携「イノベーション」(仮称)
10/	18:30-20:30		技術者倫理「持続社会と技術者倫理」(仮称)
11/	18:30-20:30		CPDセミナー:「防災(県内ハザードマップ関連、IPCC・地球温暖化など)」
H27.1/10	13:00-17:00		CPD 技術士研究業績発表大会(5例)、新年会
2/7(土)	13:00-17:00		新規技術士開業支援セミナー「ベテラン技術士と若手技術士による開業に当たっての心得など」
2/	9:30-17:00		見学会「自動車工場関係」
3/14 (土)	13:00-17:00		平成27年度技術士制度説明会

★ 地域産業支援委員会活動計画

地域産業支援委員長 松井 繁

本委員会の所掌事項は、公益社団法人としての社会貢献を目指し、その活動も幅が広く多方面に及びます。各委員の皆様の自主的・献身的な活動に支えられ、多くの実のある活動が行われております。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年度の委員会の活動は、平成25年度の組織・所掌事項を継承し、前年度の活動を更に充実・強化・拡大し、実績を積み上げることとしました。

次に、平成26年度の主な活動と今後の対応を紹介いたします。なお、次々項に報告の「彩の国産業活性化交流会」の26年度の開催につきましては、当委員会が幹事となり、支部長を委員長とした「彩の国産業活性化交流会実行委員会」で検討中です。

社会貢献活動

(1) ミラサポ活動の始動

今年度、ミラサポ活動へ当支部は積極的に協力していきます。昨年度、埼玉県からは、252件の専門家派遣が行われ、全国2位の実績とのことで、日本技術士会埼玉県支部も、他のプラットフォーム構成機関との連携した取組を行い、登録専門家の企業支援を応援致します。

埼玉県支部はミラサポ登録専門家の推薦機関として承認されています。推薦を希望する会員には案内資料をお送りしています。埼玉県支部HP ([http://www.engineer.](http://www.engineer.or.jp/c_shibu/saitama/)

http://www.engineer.or.jp/c_shibu/saitama/) の中小企業支援等相談員募集のお知らせをご覧ください。

(2) 理化学研究所への活動

今年度も引き続き、理研との関係を深めながら最新情報を逐次会員に発信して情報の提供を行います。

4月19日(土) 理化学研究所和光地区の一般公開に、委員会メンバーが参加しましたが、テレビ・新聞等に注目されていることもあり、会場は中学生・高校生の団体も多く、大混雑の状況でした。

地域産業支援活動

(1) コラボ産学官埼玉支部との連携

平成26年度の技術課題相談会は年間5回の開催が予定されています。今年度、新しい相談企業を掘り起こすと共に、一度相談を受けた企業の、相談後の改善効果のフォローアップを図ることも重要な課題として今後の対応を行うことにしています。

現在、委員会では中小企業支援等「相談員」の正会員の募集を行っており、希望する方は、埼玉県支部HPの中小

企業支援等相談員募集のお知らせをご覧ください(締切期日後も受付を行っております)、ぜひご応募ください。

(2) 埼玉県信用保証協会との連携

昨年度、埼玉県信用保証協会からの専門家派遣依頼を受けて、5名の技術士を推薦しましたが、今年度も引き続き同協会との連携を深め、ミラサポ専門家登録された技術士を優先的に推薦していきます。

展示会等、技術士活動PR

(2) 彩の国ビジネスアリーナ、コラボさいたまなどへの出展

今年度も、11月のコラボさいたま、H27.1月の彩の国ビジネスアリーナに出展、技術士活動をPRします。

★ 地域委員会活動計画

地域委員長 渡辺 孫也

- ① 東部地域、北部地域に続いて、現在、西部地域を検討中です。引き続き地域小委員会の活動を進めます。
- ② 地域毎の特徴を生かした革新的技術や重点技術に関する活動や、地域産業の活性化への寄与、地域の展示会への参画、見学会開催等も検討していきます。

- ③ 地域の技術士を中心に、地域の公的機関等との連携も進め、一般市民の参加も歓迎します。
- ④ 西部地域としての活動の第1回目は、6月を目標に検討を進めております。開催の折には皆様のご支援とご参加をお願いします。

★ 第1回彩の国産業活性化交流会報告

地域産業支援委員長 松井 繁

平成26年3月1日(土)、新都心ビジネス交流プラザにおいて、第1回彩の国産業活性化交流会を開催しまし

た。コンセプトはアベノミクス効果が中小企業までには、なかなかその効果が浸透しない中で、埼玉県支部が行っている技術課題相談会の相談内容から、中小企業が、今何を一番望んでいるのかを整理し、①経営改善、②新技術の取得、③助成金の確保をプログラムに組み込み、中小企業活性化の契機となる事を目指したものです。

主旨に賛同していただいた、関東経済産業局、埼玉県、理化学研究所、埼玉県産業振興公社、さいたま市産業創造財団に後援、また、コラボ産学官埼玉支部、埼玉産業人クラブに協賛を頂き、好評の内に実施しました。尚、交流会

の講演内容等、詳細は埼玉県支部HPをご覧ください。右図は64名参加の交流会



★ 第7回埼玉県支部技術士・研究業績発表大会報告 教育推進・CPD 委員長 黒澤 兵夫

平成26年1月4日、県庁所属技術士2名、理研1名を含む5名の専門家の講演と参加者35名による活発な意見交換が行われました。

① 「大地震時の対応」(建設 県土整備部政策形成・企画担当 主幹 田中 久義氏)

② 「橋梁の修繕」(建設 行田県土整備事務所 主任 茂木 貴司氏)

③ 「老朽化した雨水幹線更新」(上下水道 松山 正弘氏)

④ 「LED等の最近10年間の研究及び業績のあらまし」(電気電子 下垣 光太郎氏)

⑤ 「スーパーコンピュータ”京”と応用」(理化学研究所 計算科学研究機構 関口 芳弘氏)

★ 新合格者の紹介

平成26年5月24日の埼玉県支部新合格者祝賀会に参加された3名の新合格者の方を紹介します。

☆飯田 伸夫 氏 (情報工学部門)

所属：富士通株式会社 SI技術本部

専門：大規模システムの開発とプロマネをやっていました。現在は、ソフトウェアの品質管理や見積りを担当しています。抱負：今後は技術士の人脈を広げて、さらなる、スキルのレベルアップを図っていきたく思います。

趣味：空手(所属：日本空手協会 東浦和支部)のHPを担当しています。<http://higashiurawa.web.fc2.com/>

他の資格：プロジェクトマネージャ(情報処理技術者)、PMP(米PMI認定)、ITコーディネータ(経済産業省推進資格)、教員免許 理科(教員経験はありません)

☆市戸 憂二 氏 (経営工学部門)

受験した動機は、1つに経営工学という学問領域が生産管理やIEといった製造マネジメントに関わる知識で、生産性の向上など実務的な経営支援を含めたアドバイスが出来る専門領域だと思ったからです。そのような専門領域の資格を目指すことで、知識を得、社会に貢献していきたくと考え取得を目指してきました。現在勤めている会社でもIE手法を用いた現場改善支援や縁あって安全・防火に関する業務も行っていました。最近ではリスクマネジメント分野にも興味があり、さらなる資質向上を図っていきたく思っています。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

☆河内 泰三 氏 (応用理学部門)

所属：東京大学 生産技術研究所 基礎系部門 福谷研究室
この度、技術士の諸先輩の皆様の末席に加わることができて喜びに堪えません。

私は、東京大学、生産技術研究所にて、装置設計開発及び実験研究業務を行っております。

具体的には、高エネルギー加速器研究機構(KEK)や高輝度光科学研究センター(SPring-8)に、自作設計した装置を設置して、今まで観測できなかった物理現象の解明に挑んでおります。喫緊の研究課題としては、磁性薄膜の表面・界面における磁性の局在性解明とメタンハイドレート合成技術開発です。

誠に微力ではありますが、大学という教育・研究機関所属の立場から、産学官の垣根を越えた技術士間の交流によって、そのネットワークに参加していければ幸いです。

連絡先：電話 03-5452-6132、FAX03-5452-6159、e-mail：kawauchi@is.u-tokyo.ac.jp

おくづけ	公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 こうほう・彩の技術士 第4号
発行年月日	平成26年6月1日
発行	埼玉県支部総務企画委員会 E-mail saitama@engineer.or.jp